

2012年「全国生計費調査」のまとめ

I 2012年「全国生計費調査」の特徴

【調査のあゆみ】

生協の生計費調査は1957年に当時の「日本生協連婦人活動全国協議会」の活動のひとつとして始まりました。1970年以前は年1~2回の調査でしたが、1971年より毎月の集計となり、1996年には12ヶ月連続しての提出をお願いする「モニター登録制度」が始まりました。このことにより、家計の年間収支の状況をより正確に把握することができるようになりました。

登録モニター数は1,800世帯を超え、日本においては総務省の家計調査(約9,000世帯)につぐ規模の調査活動となっています。

【調査の概要】

登録モニターは、1月~12月の間、毎月一回、家計簿に記帳した内容をデータまたは紙で日本生協連に提出します。主な調査項目は、収入(給与・年金など)・消費支出(家賃地代・食費・教育費など)・非消費支出(社会保険料・税金など)です。日本生協連では12ヶ月連続して提出された内容を集計し、毎年、年間報告書を発行して社会に発信しています。

この報告では、「給与」「賞与」が収入の半分以上を占める世帯を「給与所得世帯」と呼び、「年金」が収入の半分以上を占める世帯を「年金世帯」と呼びます。

なお、2012年の12ヶ月連続提出者集計調査では、モニター数は1,393世帯(昨年1,373世帯)、平均年齢は51.6歳(同51.4歳)、平均家族数は3.5人(同3.6人)、世帯主の職種は会社員が62.9%(同63.3%)、公務員が10.7%(同10.1%)、その他(自営業・自由業等)が9.3%(同8.7%)、無職(年金生活者など)が17.1%(同17.8%)となっています。

2012年の出来事

- 1月 野田改造内閣が発足
- 2月 復興庁が発足
- 3月 東日本大震災から1年
- 4月 児童手当所得制限がはじまる
国民年金保険料が制度始まって以来の値下げ月額40円
- 5月 金環日食・東京スカイツリー開業
- 6月 台風4号が和歌山県南部に上陸、東日本を縦断
- 7月 ロンドン五輪開催、日本は史上最多のメダル38個
- 9月 エコカー補助金受付終了 エコカー減税は継続
東京電力は電気代を家庭・商店・事務所 平均8.46%値上げ
- 10月 京都大学の山中伸弥教授がノーベル医学生理学賞を受賞
- 12月 衆議院総選挙 自民党が圧勝



(1) 収入

全世帯の実収入（月平均額）は前年比 98.9%と微減ですが、給与所得世帯では、夫の賞与が前年比 96.8%で、この 10 年で最低の額でした。一方、妻の就労による収入は 2009 年から増加しており、夫婦で家計を支えている様子が伺えます。

(2) 支出

全モニター世帯の消費支出（月平均額）は 404,331 円で前年比 99.6%と前年並みですが、2009 年以降、毎年減少しています。給与所得世帯では 436,887 円・前年比 100.9%で、2009 年以降の減少傾向から増加に転じました。年金世帯では 283,476 円で前年比 94.9%と減少しています。

消費支出費目のうち一番大きく増加したのは、「自動車関係費」で前年比 113.4%でした。エコカー補助金や減税の影響が考えられます。「食費」と「教育費」もこの 10 年で消費支出に占める割合が最高（食費 16.1%、教育費 13.6%）になっています。特に年収 400 万円未満の世帯の「食費」の割合が 21.6%と全モニター世帯平均より 5.5 ポイント高く、年収が低いほど負担が大きいことがわかります。一方、「教育費」は年収が高いほど消費支出に占める割合が高くなる傾向になっています。「水・光熱費」は 19,196 円で、ここ 10 年で最高の額となっています。天候の影響や、昨秋の電気料金の値上げ等が影響していると考えられます。「通信費」は携帯電話やスマートフォン等の普及により毎年増加しています。

一番大きく減少したのは、「住居費その他」（設備・工事・家電製品購入など）で前年比 87.6%となっています。2011 年が東日本大震災後の家屋修理や家電購入、アナログ放送終了に伴うテレビ等の買い替えによる支出増加があり、2012 年はその反動で減少したと思われる。

(3) 非消費支出と年間収支

全モニター世帯の税金と社会保険料の合計は前年比 101.1%で、実収入に占める割合は 18.8%でした。

毎年の社会保険料の値上げなどにより、モニター制度による集計を開始した 1996 年以降で最高の割合となっています。

給与所得世帯の年間収支の平均額は黒字でしたが、前年より黒字幅が 93,060 円減少しました。年収 400 万円未満の世帯では 934,415 円の赤字で、前年より赤字幅が 317,006 円増加しています。

II

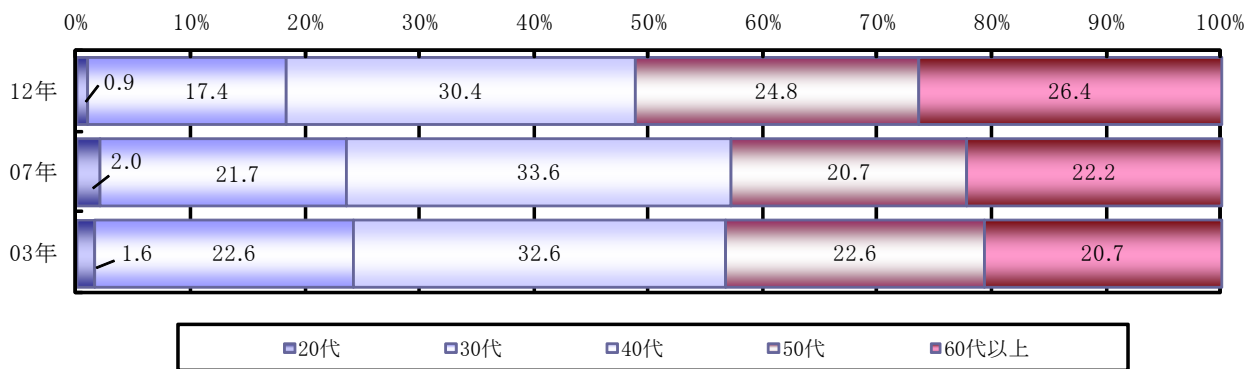
モニターの属性・提出状況

2012年の登録モニター数は50生協1,867世帯。12ヶ月連続提出モニターは1,393世帯。12ヶ月連続提出モニターの世帯主平均年齢は51.6歳、平均家族数は3.5名、世帯主平均年齢は引き続き上昇しています。

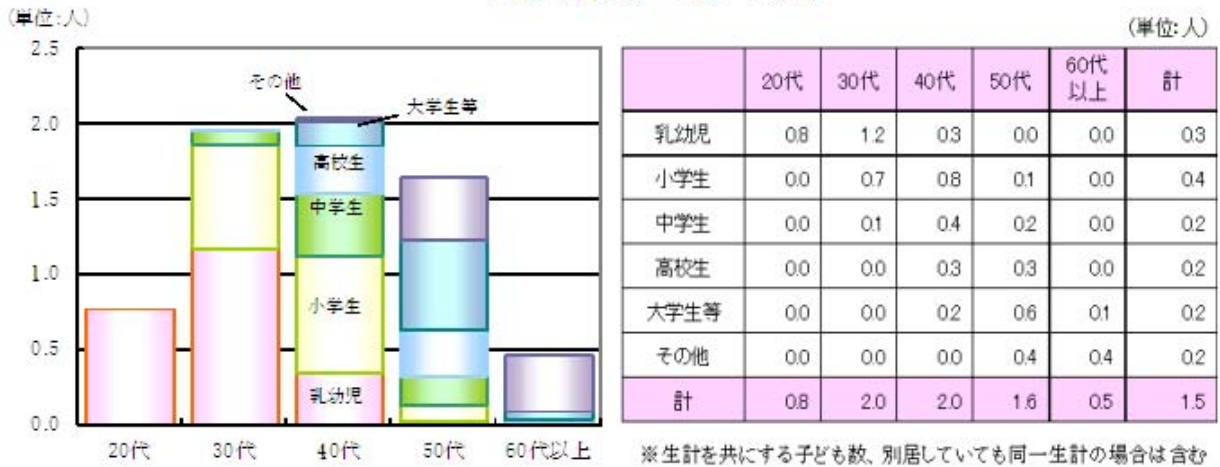
モニター数の推移（10年間）

| | 03年 | 04年 | 05年 | 06年 | 07年 | 08年 | 09年 | 10年 | 11年 | 12年 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 12カ月連続提出モニター数 | 1,382 | 1,449 | 1,488 | 1,471 | 1,538 | 1,565 | 1,566 | 1,411 | 1,373 | 1,393 |
| 世帯主平均年齢 | 49.1 | 48.5 | 49.1 | 49.1 | 49.4 | 50.0 | 50.4 | 50.8 | 51.4 | 51.6 |
| 平均家族数 | 3.6 | 3.7 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.5 |

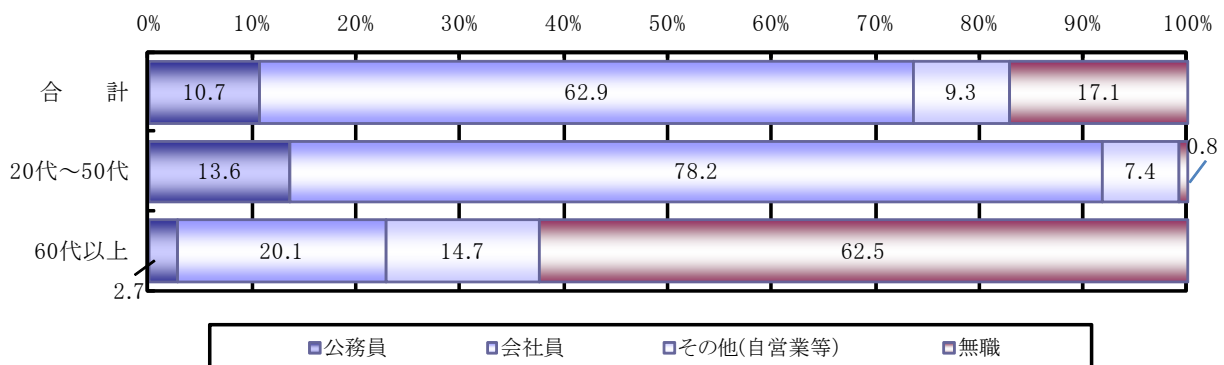
世帯主の年代



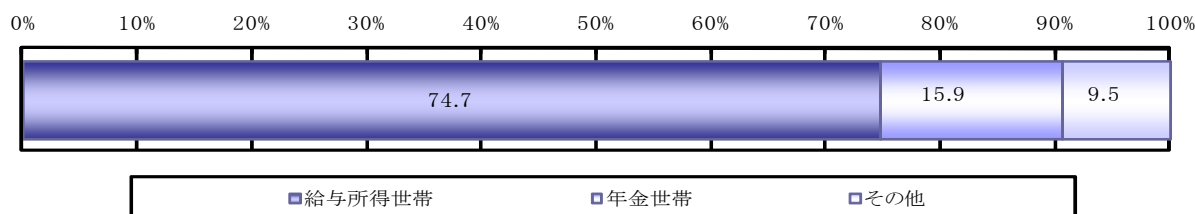
世帯主年代別 平均子ども数



世帯主の職種



給与所得・年金 世帯数

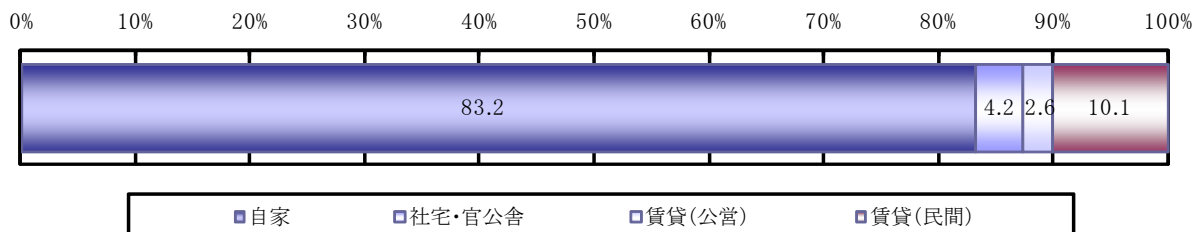


| | | 09年 | 10年 | 11年 | 12年 |
|--------|---------|-------|-------|-------|-------|
| 全モニター | | 1,566 | 1,411 | 1,373 | 1,393 |
| 給与所得世帯 | モニター数 | 1,197 | 1,065 | 1,027 | 1,040 |
| | 世帯主平均年齢 | 45.3 | 45.6 | 46.2 | 46.4 |
| | 平均家族数 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 3.9 |
| 年金世帯 | モニター数 | 235 | 222 | 214 | 221 |
| | 世帯主平均年齢 | 71.5 | 71.0 | 71.8 | 72.2 |
| | 平均家族数 | 2.2 | 2.4 | 2.3 | 2.3 |

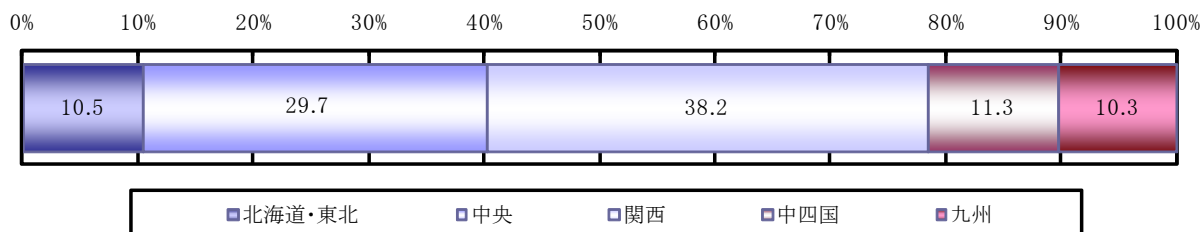
※ 「給与所得世帯」とは、総収入の過半が夫・妻の「給与」「賞与」で占められる世帯で、「年金世帯」とは夫・妻の「年金」が過半を占める世帯のことです。

尚、2012年は全体の約75%の1,040世帯が「給与所得世帯」で、「年金世帯」は、221世帯です。

住居状況



地域別状況



2012年 生計費調査 協力生協一覧 50生協

| | | | | |
|---------|----------|----------|------------|---------|
| コープさっぽろ | さいたまコープ | コープしずおか | 京都生協 | とくしま生協 |
| コープあおもり | 東京南部生協 | 富山県生協 | おおさかパルコープ | コープえひめ |
| いわて生協 | コープとうきょう | CO・OPとやま | 大阪いずみ市民生協 | こうち生協 |
| みやぎ生協 | パルシステム東京 | コープいしかわ | 大阪よどがわ市民生協 | エフコープ |
| 生協共立社 | コープかながわ | コープあいち | コープこうべ | コープさが |
| コープふくしま | 神奈川ゆめコープ | コープぎふ | おかやまコープ | ララコープ |
| コープあいづ | 富士フィルム生協 | コープみえ | 生協ひろしま | コープおおい |
| いばらきコープ | 市民生協やまなし | コープしが | 鳥取県生協 | コープみやざき |
| コープぐんま | コープながの | ならコープ | 生協しまね | コープかごしま |
| ちばコープ | コープにいがた | わかやま市民生協 | コープやまぐち | コープおきなわ |

※ 2013年3月21日合併により、ちばコープ・さいたまコープ・コープとうきょうは「コープみらい」に、コープかながわ・コープしずおか・市民生協やまなしは「ユーコープ」になりました。